

授業概要

幼稚園や保育園で日常的に行われている音楽表現について、『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』の領域「表現」をふまえながら理論的・実践的に理解を深めるとともに、その指導法を修得する。また、こどもの学びの連続性を確保するためには、保幼少連携の視点が大切となる。幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を手掛かりとして、保幼少連携の在り方について考える。

授業計画

第 1 回	ガイダンス, 手で奏でる・身体で奏でる活動①～手あそび・ボディパーカッション
第 2 回	楽器の活動①～楽器あそび, 楽器の基本奏法 (チャンチキ・篠笛を含む)
第 3 回	楽器の活動②～太鼓あそび, 太鼓の基本奏法, 合奏の演習 (基本リズム・模倣・カノン・ロンド)
第 4 回	歌の活動①～わらべうた, 創作の活動①～創作お囃子
第 5 回	創作の活動②～作曲曲を練る (発表は試験で行う)
第 6 回	歌う活動②～発声・ボイスアンサンブル
第 7 回	歌う活動③～童謡をア・カペラで 100 曲歌う
第 8 回	歌う活動④～歌唱活動における保育者の支援と歌唱指導について
第 9 回	歌う活動⑤～歌唱指導 (模擬授業 1)
第 10 回	歌う活動⑤～歌唱指導 (模擬授業 2)
第 11 回	世界の音楽教育メソッドについて知る, 手で奏でる・身体で奏でる活動②～手話の歌とリトミック
第 12 回	身近な素材で奏でる活動～身の回りの音素材探し, 音から音楽へ (即興演奏)
第 13 回	音を聴く活動～こどもと環境音について考え, 様々な音や音楽に耳を傾ける (ICT の活用)
第 14 回	絵本と音楽～絵本と音楽の関係について考え, 絵本に音楽をつける
第 15 回	総合的な音楽表現～わらべうたあそび, 篠笛実技試験
第 16 回	実技試験～ア・カペラ 100 曲課題, 創作お囃子の発表

到達目標

- ・領域「表現」における音楽表現の扱いについて学び, そのねらいと内容を理解する。
- ・童謡 100 曲 (歌), 楽器奏法 30 種類, 手遊び 20 曲, 音楽づくり・創作能力を修得する。
- ・こどもの音楽あそびについて PDCA サイクル「計画 (P) → 実践 (D) → 評価 (C) → 改善 (A)」で実践できる能力を身につける。
- ・世界の音楽教育メソッドについて理解する (レポート)

履修上の注意

- ・保育者はこどもの手本となるため, 実技の技能を高める必要がある。自信をもって, 堂々と表現できるようになるため, 積極的に様々な音楽表現を体験すること。
- ・グループやペアなど仲間と協力して音楽づくりを進めること。

予習・復習

音楽の各技能の向上を目指すには, 日々の練習が欠かせない。必ず練習 (予習) をして授業に臨むこと。また, クリアした課題はいつでも演奏できるよう, 継続して練習 (復習) すること。さらに, 理論については難しい内容もあるため, 授業内で理解できない内容があった場合は積極的に質問し, 理解を深めること (復習)。

評価方法

- ・実技試験 (60%)
- ・レポート (理論) (20%)
- ・学習態度及び課題提出 (20%)

テキスト

- ・教科書名: 『アイディアいっぱい 保育者のための音楽表現』
- ・著者名: 金指初恵 (編著)
- ・出版社名: 大学図書出版
- ・出版年 (ISBN): 2013
- * 参考図書: 『幼稚園教育要領』『保育所保育指針』『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』『小学校学習指導要領』
- * その他, 適宜, 資料を配布します (スクラップブックを準備すること)